

在宅医療に必要な連携を担う拠点等の 取組について

（府域における補助事業の申請状況の報告）

令和7年10月29日
大阪府健康医療部保健医療室
保健医療企画課

(1)サービス基盤整備推進事業(補助事業)の申請状況

(R7.8.29現在)

≪ 1 . 連携の拠点 ≫

圏 域	申請数
豊能 (4拠点)	2拠点
三島 (4拠点)	1拠点
北河内 (6拠点)	4拠点
中河内 (5拠点)	5拠点
南河内 (6拠点)	2拠点
堺市 (1拠点)	1拠点
泉州 (6拠点)	2拠点
大阪市 (24拠点)	24拠点

≪ 2 . 積極的医療機関 ≫ (R7.4.1現在 333機関)

圏 域	申請数 (内、他医療機関への 調整・支援の申請件数)
豊能 (13機関)	2機関 (0)
三島 (37機関)	1機関 (0)
北河内 (27機関)	3機関 (0)
中河内 (24機関)	5機関 (0)
南河内 (52機関)	3機関 (0)
堺市 (12機関)	0機関 (0)
泉州 (16機関)	1機関 (0)
大阪市 (152機関)	29機関 (0)

(2)連携の拠点に求められる事項と申請内容からの取組紹介

①会議の開催（③急変時の対応等の体制構築等を含む）

目的等	概要	主な参加者
より質の高い体制の構築	拠点と積極的医療機関による定期的な連携会議を設け、地区における在宅医療の現状把握・課題解決のための意見交換・検討（大阪市）	連携の拠点、積極的医療機関等
急変時体制／24時間体制の構築	積極的医療機関・連携の拠点・地域のクリニックによる在宅提供体制づくり （緊急時対応を含む）に関する意見交換・検討会（枚方市医師会）	連携の拠点、積極的医療機関、地域の診療所、行政（健康づくり課、保健所）
	積極的医療機関の現状や抱えている課題等を共有し、 24時間対応体制を目標に、課題改善点の協議やICT活用等 について検討（河内医師会）	医師会（拠点）、積極的医療機関、行政
	拠点が緊急対応時において、 積極的医療機関（病院、診療所）への振り分けに関するルール作り を検討（岸和田市医師会）	医師、医師会事務
ACP関連	延命治療を望まない人への「大阪府版活動要領」と「CPR基本プロトコル」の一部改正についての周知を検討 （大東・四條畷医師会）	救急隊員、病院医師、地域かかりつけ医、訪問看護師、在宅医療・介護救急医療関係者
	ACP普及啓発や救急プロトコルについての意見交換及び 難病患者の在宅医療についての意見交換 （寝屋川市医師会）	医師、行政（市保健予防課）、高齢介護室等
	ACP認知度の向上を図る 実務を担う多職種チーム（目的別検討運営G、知識を高めるG、理解を拡げるG）を立ち上げ 、活動方法やチームとしての周知方法等を検討（交野市医師会）	医師、作業療法士、包括支援センター職員、介護支援専門員、行政等
災害関連	災害時の避難をスムーズに進めるための医ケア児・者レスパイト入院システムの構築 にむけた情報の共有化や 地域住民をはじめ医療・介護関係者との共通認識を図るための講演会 について検討（布施医師会）	医師(医師会)、コーディネーター、放課後デイサービス担当者、医療的ケア児コーディネーター、支援学校関係者、訪問看護ステーション担当者
	応急対策後の生活安定期および復旧支援移行時について 、災害時の支援活動を行う 関係機関（保健・医療・福祉）の平時からの情報共有 及び、災害発生時に迅速かつ効果的な支援の具体的な方策を議論（堺市医師会）	行政・医師会・歯科医師会・薬剤師会・訪問看護ステーション協会・介護支援専門員協会、老人福祉施設部会・理学療法士会、地域包括支援センター

(2)連携の拠点に求められる事項と申請内容からの取組紹介

②地域の資源の把握・関係機関との調整

目的等	手法	成果物（予定）
実態把握と普及啓発	訪問診療の課題や今後の発展性について往診・訪問診療を行う医療機関へアンケート調査を実施し、副主治医性が進まない理由について分析しグループ診療体制構築への進展を図る（大東・四條畷医師会）	アンケート結果及び訪問診療の課題や今後の発展性についての調査結果
ACP関係	学区単位で地域住民を対象としたACP個別説明会及びヒアリング調査（交野市医師会）	説明会参加住民のACP理解度率アップと、住民目線のACPが広がらない要因を集約し、効果的な周知方法について検討
	救急隊員の活動支援について、高齢者救急とACPに関する課題の抽出と対応策の検討（和泉市医師会）	メディカルコントロール協議会の活動要領に準じ、医師会としての意見を集約
ICTを活用した連携連携	他地域の先進事例の調査・視察及び医師会員を対象とした在宅医療におけるICTシステム導入状況の調査、自地域におけるICT活用スキーム作成（枚方市医師会）	調査結果まとめ、ICT運用規約・様式・サポート体制案等
	病診・診診連携の円滑化に向けた、積極的医療機関との個別面談及びWEB講義による連携ツール導入支援（八尾市医師会）	情報連携ツール導入医療機関数の把握、導入支援動画の作成及び医師会HPでの公開等
	積極的医療機関との連携づくりにICT（バイタルリンク）を活用し、医師会が拠点として、積極的医療機関をはじめ在宅医療に関わる医療機関に対して協力体制を進める（岸和田市医師会）	積極的医療機関をはじめ在宅医療に関わる医療機関に対して協力体制の構築
平時の体制構築	在宅医療連携コーディネーターを配置し、通院困難時等患者の受入を、地域の在宅医グループまたは積極的医療機関へつなげる。（豊中市・豊中市医師会）	地域の在宅医グループまたは積極的医療機関による在宅患者受け入れ体制の構築
	すでに地域の自治会等と関係性を有している社会福祉協議会と情報共有、直接の対話を通じて当該地区の課題抽出と課題解決に向けた対応策を検討（大阪狭山市医師会）	検討結果及び当該地区に存在する医療機関にも加わってもらい、関係性を新たに作ることで相談事業の拡張
	連携の拠点を中心となり、医師会が委託する他の医療機関の支援を行うSACAY在宅医チームを構築。調整費制度を導入し、互いの連携を以って医師の負担軽減を図り、地域の在宅医療の体制整備を進める（堺市医師会）	在宅医師の代診制チームの構築
災害時の対応	積極的医療機関と共に災害時非常用電源の運用について検討（枚方市医師会）	災害時非常用電源貸出の運用手順等

(2)連携の拠点に求められる事項と申請内容からの取組紹介

④在宅医療にかかる研修

目的等	内容	対象
ACP関連	在宅医療や施設における ACPの取組と救急搬送 について、現状を共有し、 医療介護関係者それぞれが役割を認識し、在宅療養患者・家族の支援に活かせる知識を身につけることを目的とした研修会 （河内長野市医師会）	医師、看護師、その他コメディカル、ケアマネ、社会福祉士等
ICT関連	在宅医療におけるICT連携の必要性について理解するための、 多職種連携ICTネットワーク説明会 （枚方市医師会）	医師、訪問看護師、MSW、行政職員等
医療的知識	地域医療支援病院における 「循環器内科ホットライン」の開設 と在宅医療連携についての研修会（池田市医師会）	病院医師、看護師、医師会員
	退院時連携の場面において 訪問看護事業所等が初期対応に苦慮するケースの解決を図る ため、退院支援の好事例紹介や、グループディスカッションを盛り込んだ 多職種連携研修会 （茨木市）	地域連携室MSW、退院支援に関わる看護職、訪問看護職、介護支援専門員、障がい者相談支援専門員等
	市内における在宅往診チーム数の増加、拡大を図る、 既存在宅往診チームによる活動報告 （門真市医師会）	医師
	適切な時期に患者の状態に応じた病院や診療科を選択することができるよう、入退院支援の向上及び医師同士の関係性を深めるための 在宅医向け 病院実習（救急医療、地域連携室、病棟見学、手術支援ロボットの説明等） （堺市医師会）	医師
	緊急時トリアージマニュアルやかかりつけ医のための訪問診療マニュアル等の周知研修 （泉大津市医師会）	病院関係者、かかりつけ医など地域の医師
	在宅医療・緩和ケアの現場から 、死生観の深化や在宅医療・緩和ケアの理解促進、ACPの実践力向上等をめざす研修（布施医師会）	医療介護福祉従事者
災害関連	在宅医療にかかる災害時対応について、 実践を交えた災害訓練 （交野市医師会）	医師、作業療法士、包括支援センター職員、介護支援専門員、行政等
	在宅療養者に関わる医療・介護・福祉・行政の多職種が、避難行動要支援者制度の仕組みと実務を学び 、災害時の情報共有と連携の実践力を高める研修（和泉市医師会）	地域包括支援センター職員、居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）、訪問看護・介護事業所職員、民生委員・自主防災関係者、医療・福祉施設の防災担当者

(2)連携の拠点に求められる事項と申請内容からの取組紹介

⑤在宅医療の普及啓発

目的等	内容	対象
医療的知識	住民等に対し、緊急時の対応方法については、 家庭用緊急時判断マニュアルを配布、5つの場面を想定した寸劇を用いた説明会 (泉大津市医師会)	住民等
	内科、歯科、言語聴覚士、管理栄養士による誤嚥性肺炎を予防のための在宅におけるポイントを学ぶ研修会 （大東・四條畷医師会）	住民
ACP関連	地域住民であり支援者でもある民生委員に対し、在宅医療の現状やACPについて啓発 （枚方市医師会）	民生委員
	ポジティブな雰囲気を持ちネガティブな印象にならないよう、もしばなカードを使い、自己決定の尊重や未来への備えなどを考えるきっかけを提供する研修会 （堺市医師会）	住民
	ACP推進にかかるロゴマークを看護学校と連携し作成し、そのロゴ入り啓発グッズを複数の住民向けイベントで配布し啓発 （泉佐野泉南医師会）	住民